

うちゅうせん新聞

広報係 06年12月1日(金)発行 4号

仙台市天文ボランティア会報

例会より

[9月16日\(土\) PM3:00~5:00 出席者 14名](#)

メーリングリストでの呼びかけには送信者宛に返事を返しましょう

芋煮会は10/28で参加希望者は前日までに申込みを(会費500円(アルコール類は含まず))

12/16 仙台星まつり会場が公募に変わり申込み必要

山田市民センターなど、年数回のシリーズで実施する観望会は同じ内容ではアキルので星座ビンゴのほかにも企画を考えたい

その他、議事内容は、9、10月の観望会参加者確認、合宿参加数(9名)、近況報告など

従来の観望会スタイルだけでは、2回連続参加の参加者がいた場合、それだけかとおつまらなくなります。そこで、皆さんの知恵で新しい趣向を取り入れていくことが必要です。それぞれ考えて持ち寄りましょう。

[11月3日\(金\) PM7:00~9:00 出席者 14名](#)

11月の観望会欠欠について(平日の予定が5回あり参加を呼びかける)

芋煮会会計報告(16名参加で楽しかった)

12/16 仙台星まつり実行委員会案について(河北ウィークリーや市政だよりでも紹介される予定)HP掲載中星まつりは惑星など見せるものがあまり無く天文車ベガは無しとした。例会欠席者にMLで参加呼びかけをするが、出来るだけ可否を連絡願いたい。ML返信では全員に送られるため、差出人宛に送信願います。

[11月18日\(土\) PM3:00~5:00 出席者 11名](#)

12月の観望会予定について(12/23 石巻カファン館)

星まつりについて(参加者、内容、配布品の詳細について)

1/13(土)新年会予定です。(場所等は別途お知らせします。)

星まつりではすばるをメインとして、研修係が天体案内図「すばるの見つけ方」を作成しました。さっそく今回配布する予定です。毎年配布している天文シールについても手分けして印刷する予定です。

観望会協力者が少ないものについてはMLで呼びかける予定。皆さん、協力できるものにお力を!

メール等での依頼には返事をヨロシクお願いします。

今号は観望会が講座応援も含め多く有名な星が少ないのが残念な位です。新人の方の投稿も多く楽しくなりました。秋、恒例の合宿や芋煮会も楽しかったですね。これからの季節は夜空が賑やかになって観望の好機!サー皆、夜更かししながら、楽しまNIGHT!!

観望会より

[芦の口小学校観望会 9月15日\(金\) PM7:30~\(うちゅうせん5名、参加者計約100名\)](#)

小学校のお泊り会のイベントの一つとして、6年生と保護者を対象としたものでした。

当日の予報は曇りで、これまでの芦の口小学校観望会もすべて曇天。ほとんど諦めていたものの、まさかの!?晴れ!で、望遠鏡を準備する私たちもワクワク気分です。セッティングしていました。

19:30 から星座物語(オリオンとサソリ、銀河鉄道の夜)をやり、観望で外に出ると、あら!夏の三角くらいしか良く見えない?程度に薄雲が広がり...そんな中なんとかアルビレオと、一等星の色の違いなどを、望遠鏡で見いただきました。それでもカシオペアやかすかに見える北斗七星、雲間から見える白鳥座などをたどって星空散歩して、大変わかりやすいと喜んでもらえ、アルビレオのキレイな様子に歓声をあげてくれました。

子供たちの元気な声にこちらも負けじと(笑)声を張り上げて説明をしたせいか、ちょっと喉を痛めましたが、子供たちが作った個性豊かでとても美味しい!カレーライスをご馳走になって帰ってきました。

月も惑星もない、少しさびしい夜空ではありましたが、実際に、自分の目で、望遠鏡を覗いて星を見ることは、どんなにスライドや紙で説明するよりも説得力がある、と、子供たちの「すごい!」「きれい!」という素直な感想を聞いて思います。



11/2
星座ビンゴ

観望会以外の活動より

[養成講座・課外授業 9月23日\(土\)PM6:00~8:00 \(うちゅうせん3名、同好会1名、参加者13名\)](#)

秋の星空を見よう・でしたが、講座終了が17:00です。すから日没まででも1時間余・星が見られるまではかなりの時間が有る為、うちゅうせんの紹介などさせて貰ってから外へ出て貰いました。

西空に傾いた木星が肉眼での確認が難しい時刻での開始でした。他にはアルビレオ・ミザールとアルゴル・後半にはびろりんの25cm鏡でM57・M13・M31なども...

課外授業に残った受講者の皆さんは熱心に楽しんでいました。今日は覚える事が一杯有ったな~の声も...

終了間際に男性3名から、うちゅうせんに関心あり・乗船希望の申し出が有りました。10月は例会がない為、11月の例会に参加してもらおう誘いをしました。

それにしても、晴れてくれた事に感謝!です

[土星だ環ン 9月23日\(土\)AM3:00~AM5:30 \(うちゅうせん3名、参加者30名\)](#)

市民広場で「土星だ環ン」実施しました!メインは藤村さん 助手?吉田x2名の3人。カラオケ帰りのサラリーマンや元気なカップル、自転車を通りかかった女性や男の子2人組など、土星が青空に溶けるまでの2時間半ほど。

いつもながら、土星の魅力的な姿に、皆さん感激の声!普段の夜のライブとはお客さんの雰囲気違います。なんといいですか...アルコールは入っていても、もう朝なせいか、とても健康的!?(笑)爽やかな笑顔を残して皆さん帰って行きました。日の出間際の明るい空の中に、透明感のある土星が微かに見えているのは、土星を見慣れている私たちでも、感動です。加えて藤村さんが、まだ見えるうちにスバルをあわせていたのですが、空が白々と明けるにつれて、たくさんのスバルの星々が、一個、また一個と、青空に消えていく様が、とっても美しく、心に残っています。この日は一日中、変な寝不足と疲労感がありましたが、大・大満足!な秋分の日となりました。

なお、スッキリと秋晴れが続いたこの日、夜もまた藤村さんと伊川さんがライブを決行!その日2度目のスバルに、さらに感激しました。(吉田x2は、ちょっとだけ、冷やかに?ライブに寄った次第です)

観望会より PART.2

[山田市民センター観望会 10月21日\(土\) PM6:00~8:00 \(うちゅうせん4名、参加者15名\)](#)

三度目の正直で嘘のようなピーカンでした。小学校の学会が有ったとの事で予定していた来れなくなった連絡が数家族から有りましたと言われ心配しましたが、親子合わせて15人ほどの参加が有り、前回も来てくれた見覚えある小学生も数名おりました。

正直、望遠鏡で見て貰う対象がチョット寂しいので前半は室内で、今月の星空説明(ピロ)、鎖につながれたお姫様(絵)星の明るさと距離の話(な)を。それが終わったところで半分の1時間、その後外に出て3台の望遠鏡と双眼鏡1台で、いろいろ楽しんで貰いました。やはり本物を見てもらうとインパクトが強いようです。北極星も感心して見てくれます。

以前、市の広報課から取材の依頼が有りました。観望会の実際を見て貰うのが一番でしょう・と言っていたんですが、今夜・若い女性記者が見え、最初から最後まで付き合ってくれました。仙台市政だよりの「まちの話題」と言うシリーズでうちゅうせんを紹介していただけるそうです。掲載は12月号・との事でした。

[東中田市民センター観望会 10月28日\(土\) PM6:00~8:00 \(うちゅうせん5名、参加者34名\)](#)

望遠鏡セット時点では月もおぼろでしたが、開始の頃には綺麗な月が見られました。と言う事でお天気は晴れ・最初の1時間は望遠鏡4台+双眼鏡での観望。ピロリンの25cm鏡や斎藤君の32cmドブの大きさに子供たちは驚き・大喜びでした。久々でズームアイピースを使っただけの月面旅行も行列が出来る好評さ?

後半は室内に戻り、星座物語・オーロラのスライド、その後星座ビンゴで盛り上がりしました。最後に質問を幾つか受けての終了でした。参加者は4歳男児からおじいちゃん・おばあちゃんまででしたが、小学校低学年が目立ちました。当方参加者(西口・ピロリン・宝示戸・斉藤)さん。お茶をご馳走になったの解散でした。

[荒巻小学校観望会 11月2日\(木\) PM7:00~8:30 \(うちゅうせん8名、参加者120名\)](#)

つかの間の月観測に大感激!(PTAのお礼のイベントより)

当日は非常に微妙な天候で、開始前は「ちょっと無理かなあ...」と思っていました。ぎりぎりまで体育館で船長さん達のお話を聞いた後、本当に終了間際の20時頃から校庭で30分位月を観測することが出来ました!全員が望遠鏡を交代で観ることができ、中には写真撮影にチャレンジする姿もあり、皆大満足でした!うちゅうせんの皆さん本当にありがとうございました!

新乗組員紹介 (2006年・夏以降乗船の乗組員)

佐々木さん はじめまして!8月から新乗組員となりました。仙台市青葉区内の夜空の明るい地区に住んでおります。私は、子供の科学という本の影響で、小学高学年の頃から星座観望は好きでした。実家も光害の影響のまったく無い地域でしたので、恵まれていました。ただ、ここ10数年、星から離れていたため、天文の知識も薄れていたことや、何らかの形で天文に係る機会が出来ればという思いがあり、この度うちゅうせんに乗船すると同時に仙台市の天文ボランティア養成講座に参加することになりました。また現在は、宮城県森林インストラクター協会にも所属し、県民の森や大和町の森をベースに、森作りのお手伝いにも参加しています。私のボランティア活動のモットーは、無理をせず楽しく、責任を持って参加する・・・です。うちゅうせんの皆様、今後共宜しくお願い致します。

齋藤さん 例会にて天文台を訪れると、大変懐かしいものを感じます。思えば遠い昔、小学校6年生だった私は、何度もプラネタリウムに通ったものでした。プラネタリウムで土星や木星の位置を覚え、家の望遠鏡(6cm屈折)で実際にその姿を確認し、大いに感激したものです。中学に入る頃には天文の興味も薄れ、その後天文からは遠ざかっていましたが、20年前のハレー彗星ブームの頃、再燃しました。当時はシュミット・カセヤドブソニアンのような大口径の望遠鏡も身近な存在になっており、その為か、網状星雲やNGC293(みずがめ座)のような淡いものを好むようになり、今日に至ってます。

次に入会の動機についてお話致します。今年3月にH/Pの伝言板を拝見しましたら、家の近くの小学校で観望会がある事を知り、部外者ながら助っ人を申し出ました。部外者の突然の書き込みにも丁寧に対応して戴き、また、帰り際にK夫人が、500円を差し出し、「入会して下さい」と仰ってまして・・・。今思えば、500円は食事補助だったのでしょうが、入会の準備金とか手付金のようなものなのかな?と暫く悩んだ挙句、入会を決意した次第です(笑)。

皆様とともに21世紀の多くの子供たちに宇宙の素晴らしさ、美しさのようなものを伝えてゆけることを光栄に思います。

高橋さん 今度、うちゅうせんに新たに参加させていただくことになった高橋です。青森県黒石市出身で、地元でも星を見せるボランティアのようなものに参加していました。そのときも曇天の場合、建物があるところでやる場合は屋内で裏プログラムをやり、ない場合は中止といった具合でこちらと同じような感じでした。その経験を活かして、微力ながらも皆さんの力になれれば良いと思うと同時に、自分も勉強させていただきたいと思っております。

イベント報告

うちゅうせん行事・秋合宿 10/14,15

全体的にとても愉しめた合宿でした。中津川溪谷の景観、紅葉の磐梯山も綺麗でした。ペンションの洋食も、また帰りに皆さんで食べた会津若松市の蕎麦(船長ご推薦のお店)も美味しかったです。

そこそそ天気も良く、星のほうもそれなりに愉しめました。ペンションの天文台は、小さなドーム(2.6m程?)にアスコ製の26cm望遠鏡がぎりぎりに収まっていて・・・。

人がすれ違えるほど広くなく、望遠鏡とドームの間をすり抜けるのもちょっと大変でした。観望時は、脚立に登り、ドームと望遠鏡の間に体を押し込む感覚でした。にじり口のような狭い入り口に身を縮めて入り、望遠鏡を一周してから再び、にじり口から出るような観望スタイルでした。

合宿で晴れることが少ないことを思えば、今回は大当たりバンザイ!の合宿でした。知り合いの女性を誘って行ったのですが、「星を見るって、こんなににぎやかにワーワー見るなんて思ってもみなかった」なんて言ってました。うーん、静かに楽しんでいたつもりだったんですが。

芋煮会 10/28 参加者16名(含む:天文同好会)

同好会は午前にも集まりがあり、11時集合にも集まりが悪くゆっくり参加者が増えていく状態。前日までの悪天が嘘のように風も無い芋煮日和に恵まれました。吉田さんが材料を用意して来るまで、須藤さんがまずはお湯をわかし始めましたが前日までの雨が薪を湿らせ燃え上がらない事・・・あせりました。つまみやチョコ漬物 etc.なくなりました。同好会の若者の力仕事ありがとうございました。須藤さんの用意周到さも会って炭いっぱい使っておいしい芋煮なべができて良かったです。食事は待つて待つて食べるとおいしいです。今年はなべ、完食しました。捨てる事も無く話にも花が咲き良い芋煮でした。最後に焼き芋まで吉田さんは用意してくれていたのです。それも完食!でした。



12月の星空

大晦日から元日にかけプレアデス星団の月に隠れる食が2007年初観測も可能

水星: 11月25日に西方最大離角となったので明け方の東天にある

金星: 夕方の西の空ごく低く夕焼けの中に姿を見せ始めている

火星: まだ太陽に近く目に付きにくい状態

木星: 夜明け前の東天にいますがまだ見えにくい

土星: 夜更けには東の空に姿を見せるようになってきている

星食: 12月31日の宵にプレアデス星団の食

流星群: 12月14日ごろふたご座流星群がピーク

星のおはなし 日食の中国の伝説

[竜に呑み込まれた太陽]

古代、中国では、天に目に見えない竜が住んでいると信じられていました。その竜は時々、太陽を呑み込んでしまう悪竜でした。竜が太陽を食べ始めると、人々は、手に「どら」や「かね」、「太鼓」を持って、ジャジャジャン、ドンドンとはやしたてるのでした。竜はびっくりして太陽を吐き出してしまふのだそうです。これは、現在でいう日食のことです。また、この竜を追い払う儀式が、今でも蛇踊りとして残っているのです。竜の絵を見ると必ずといっていいほど持っている金の玉は、太陽を型取ったものなのです。

HPより

月の出・月没の無い日? 投稿者:永井 投稿日:11月14日(火)

太陽が毎日、正確に日の出と日没があるのに対し(注)、月はそうは行かないようです。昨日が下弦、今日(14日)月没は13:13で昼前の青空の中に白い姿が見られました。月の出は何時だった?と思ったら今日は月の出の無い日だったんですね。月が出るのを1回サボった訳では有りませんで、日の替る前日の0時直前に月の出があると翌日は沈むだけとなり、更に翌日の0時直後に昇ってくる・と言う訳です。当然同じように、月没の無い日も有りますが今年1年間では、月の出無しが12回、月没無しが13回です。下弦付近で月の出が無く、上弦付近で月没が無い日が出てきます。どちらも昇る時刻を考えると・なるほど!と納得出来ます。月が出て沈むまで空での滞在時間?を見ると、季節によりかなりの差の有る事が判ります。

(今年・仙台)

春分(3/21) 8時間49分 夏至(6/21) 15時間06分
秋分(9/23) 12時間50分 冬至(12/22) 10時間05分

今夜は2ヶ所で観望会ですが、月は出ませんので晴れても見る事は出来ません。月の出は翌15日0:39です。それより何よりお天気が悪そうで残念です。

(注)

「毎日正確に日の出と日没があるのに対し」について注釈です。

編集後記

中秋の名月から始まった嵐は各地で被害があり大変でした。今年のお月見は3日遅れの居待月(いまちづき)になった朝、やっと西に傾きかけた月を見ることが出来ました。個人的に、今年は七夕もお月見も見逃してしまいました。来年は晴れに恵まれるかな?(辺)

今年の芋煮会は、芋煮が自分の別用で引き上げる時間に間に合わず、又しても空振りとなりました。うちゅうせんの芋煮にはずっと運に恵まれませんか。(今)

観望会・芋煮会とマーマーの天気で今秋はさほど天気に嘆かないかなと思っています。もうすぐ星まつりの時期になり、惑星の無いのには寂しく思いますが市民ひろばのにぎわいに加わるのも楽しいものですね。寒い季節が始まっていますが、皆さん、風邪を引かないように楽しみましょう。(中)

12月16日(土) 仙台星まつり 勾当台市民広場で開催
光のページェントと合わせみんなで参加しましょう!